

## 令和5年度 第4回 丸塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月20日（火） 13時30分から15時35分まで
- 2 開催場所 丸塚中学校 多目的ルーム
- 3 出席委員 稲垣 邦圓、 鈴木 悦子、 尾上 弘、 名倉 善郎、  
酒井 里江子、 宮下 まゆみ、 園山 尚俊、 鈴木 俊哉、  
田嶋 節子（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校 高柳 慎二（校長）、青島 正和（教頭）、中井 浩行（CS担当教員）  
平野 大輔（教員）、石津谷 訓子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 石津谷 訓子
- 8 協議事項 (1) 学校関係者評価について（いじめ防止基本方針について含む）  
(2) 来年度の学校運営基本方針について  
(3) 学校運営協議会の自己評価について

### 9 会議記録

司会の教頭青島から、委員総数9人のうち9人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、第一回運営協議会で承認された尾上副会長が議長をする旨の報告があった。

#### (1) 学校関係者評価について（いじめ防止基本方針について含む）

教務主任の村上から「学校評価アンケート結果」に基づいた考察と今後の取組、改善策の報告があった。

- ・ 発達支援クラスのこころプロジェクトはどのように対応しているか。いじめの話聞いたので心配している。（宮下委員）  
→ いじめ報告はその都度対応しているが、思ったことをストレートに表現してしまう子、逆に上手く伝えられず引きずってしまう子もいるので、教員が上手に間に入って関わっていくことが今後の課題だと思う。（青島教頭）
- ・ いじめは悪いことだと理解している子も増え、減少していると思う。ただ、突然いじめが起こるのではなく、いじめになる道筋があると思う。いじめになる前の段階でおさめていく指導が必要になってくると思う。（園山委員）

- ・ 相手にどう思われるか不安になって、言いたいことが言えない子がいると思う。どんな人にも良い所と悪い所があって当たり前という事を、受け入れる指導をして欲しい。(田嶋委員)
- ・ いじめは暴力、無視、SNSで、と形を変えていくが、人間である以上種は消えない。言いたいことを恐れずに言える関係や、言えない子に対しても周りの子が察する事ができる関係を作ることが大切。(尾上委員)
- ・ 子供から道徳の授業などでディベートをして、友達が思ってもみなかった素晴らしい考えを持っていて新しい発見があったと聞くことがある。授業も形を変え、話し合う場が増えて良いと思う。(園山委員)
- ・ 現状、いじめとは具体的にどんなことがあるのか。(稲垣委員)
  - いじり、からかい、冷やかしなどで、相手に不快な思いをさせたらいじめと認知する。または、SNS等での仲間はずれや悪口を書かれたなどがある。(中井)
- ・ 被害にあった当事者が相談してくるのか。(田嶋委員)
  - 第三者から報告があることがある。(青島教頭)
  - 年3回アンケートをとっており、認知したものは両者に聞き取り、謝罪、親に連絡、3か月間継続観察し、被害者に聞き取り、解消するまで留意している。(中井)
- ・ 学校評価アンケートを可視化することにより客観的に把握できる。先生がいじめ件数や進捗状況を把握していて、質問にすぐに答えられることもすごいと思う。(俊哉委員)
- ・ 地震や災害のような有事の際には、学校の施設が使用されることが多い。社会の役に立ちたいという気持ちが芽生えてくる時期でもあるので、物理的にも身体能力的にも中学生が活躍して、復興の担い手になることもある。(俊哉委員)
- ・ いじめがなくなることはないだろうが、前向きになるような対話のある授業を深めていって、対応できる生徒が増えるといいと思う。(尾上委員)

(2) 来年度の学校運営基本方針について

校長高柳から、来年度のグランドデザインを基に学校経営構想の説明があった。

- ・ 学校経営構想の20年後を見据えた人工知能に対応した教育をしていただくことは、とても大切だと思った。(宮下委員)
- ・ アンケートで「明日も来なくなる丸塚中学校」の項目で、昨年度より数値が高くなっているということは、素晴らしいことだと思う。いい声掛けデーでも、生徒から挨拶をしてくれて成長の表れを感じる。(悦子委員)

(3) 学校運営協議会の自己評価について

- ・ 他者の意見を反映させたり、重ねたりしながら熟議ができた。(酒井委員)
- ・ 家庭科の授業支援などは、田嶋委員が中心になってやってくれて心強かった。

(宮下委員)

→ 職場体験の受け入れ先もこの協議会で紹介していただき、人数に余裕をもって体験することができた。(青島教頭)

- ・ 協議会の様子をブログで発信したり、参観会の時だけでも掲示物にしたりして保護者の目に留まるようにしたらどうか。(園山委員)
- ・ 学校側がどんな支援や協力が必要か、要望をより積極的に聞きたい。

(田嶋委員)

- ・ 年度毎に生徒が良くなっている。保護者、地域、学校が連携を取ってビジョン実現のために熟議を続けていきたい。(稲垣委員)

以上の協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

○ その他報告事項等

教頭青島から、夢育やらまいか事業(CS加算分)についての報告があった。また来年度第1回運営協議会は令和6年5月10日(金)に開催予定である旨の報告があった。